



2017 年 10 月 24 日
株式会社レコチョク

レコチョク、米・音楽系スタートアップ支援「Techstars Music」 2018 年度プログラムへメンバー企業として参画

株式会社レコチョク(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:加藤裕一、以下:レコチョク)は、2017 年 10 月、米国トップレベルのアクセラレーター(起業家支援プログラム運営企業)である Techstars,LLC (テックスターズ、本社:米国コロラド州ボルダー、Co-founder CEO:デビッド・コーエン、以下 Techstars)が運営する「Techstars Music」の 2018 年度プログラムにメンバー企業として参画することを決定、同社との契約を締結しました。

「Techstars」は 2006 年設立、米国を拠点に世界規模で起業家支援プログラムを展開し、これまでに多くの成功実績を上げています。同社ではスタートアップを募集、少数精鋭の企業を選抜し、3 カ月間の養成プログラムを実施します。期間中、資金やオフィス・スペースを提供、メンバー企業、各分野の専門家など外部アドバイザーからビジネス構築に向けたアドバイスの機会を設け、その後、投資家や専門家を前に成果発表としてプレゼンの機会が与えられます。優秀な起業家は投資家からの資金調達を受けることができるという一貫貫型の少数精鋭で起業家支援が特徴です。

今回、レコチョクがメンバーとして参画する「Techstars Music」は、音楽分野でのビジネス展開に特化したプログラムで、昨年、2016 年 10 月に初めてプログラムを実施しました。募集カテゴリーは「新たな音楽体験」「クリエイション & コラボレーション」「マーケティング & E コマース」「コンテンツ・インフラと配信」「権利関係」「データ・機械学習、AI」「デジタルネイティブへ向けた音楽教育」「技術ベースのアーティスト発掘」「イベントとクラウドの安全性」と多岐にわたります。

第一回のプログラムでは、応募したスタートアップ企業から選抜された 11 社に 3 カ月間の養成プログラムを実施。2017 年 5 月開催の成果発表には米国内外の音楽系企業や関係者、投資会社が参加、優秀企業への投資が実施されました。

レコチョクは、「音楽×IT」として、音楽配信サービスをはじめ、新たに立ち上げた新規サービスの展開のために、最先端の IT 技術の積極的な活用を進めています。IT を活用した魅力的で画期的な音楽サービスの実現を目指すなか、海外の先駆的な IT 技術にいち早く接していくために、今回のメンバー契約を決定しました。今後も音楽×IT による新たなサービスの展開により、日本の音楽市場のさらなる活性化を目指します。

■Techstars Music2018 年度プログラムについて

Sony Music Entertainment、Warner Music Group、Harmonix Music Systems、Silva Artist Management、Bill Silva Entertainment、Q Prime Management、Concord Music、Royalty Exchange、レコチョクがメンバーとして参画しています。

<https://www.techstars.com/programs/music-program/>



[スケジュール] 2017 年 10 月 15 日:スタートアップ企業の応募締切
2018 年 1 月上旬:優秀企業 10 社を選定
2 月～4 月:起業家支援プログラム実施
5 月上旬:Demo Day (プレゼン)

＜本リリースに記載している会社名、製品名は、各社および各団体の商標または登録商標です＞